

ふれあい通信



吉田 忠典

よしだ ただのり

- 夏井出身
- 埼玉支部

故郷への思い

蜜二十日に蟬三日といわれま
すが、時の経つのはあつという
間“で気がついたら、残り余生を
指折り数える古稀になっていま
した。

私は前回東京オリンピックが
開催された1964年に上京し
ました。以来51年間「故郷への思
い」は常に私の脳裏に住んでいま
す。誰でも経験しますが、まず
最初は都会生活への絶望でした。
川崎の重電機メーカーに就職し
自動制御装置の回路設計を担当
しましたが、納期に追われユーザ間
を飛び回る毎日で、一生これが
続くのかと2年目には無性に故郷
に帰りたくなりました。故郷
での仕事は学校の先生と目標を
定め、資格も取得しました。

帰る前に専門技術を生かした
いと東京の公営企業に再就職し
ました。転職先の公営企業も世
間の大波に呑込まれて思わぬ民
営化!その後は元の黙阿弥、勤
続31年で23回の転勤とメーカー時
代以上の忙しさに故郷への思い
は更に募り、帰省のたびに兄と
Uターンの家を見て歩きました。
結局Uターンの決心はでき
ず、退職後Uターンの夢見なが
ら長い年月を過ごしました。だ
が古稀の現在、非常勤として働
く場が与えられ、自治会に、テ
ニスにと忙しい生活を楽しめる
のも、挫折しそうだった現役時
代を支えてくれた「故郷への思
い」があつての事だと感謝してい
ます。



プラスチックごみは
さっと水洗いし水気
を切るか、汚れをふ
き取ってから出して
ください。



回収したプラスチックごみは、
機械で細かく砕いて、ごみを処
理する時の灯油の補助燃料とし
て再利用されます。

分別にご協力をお願いします!

皆さんのご協力により分別回収したプラステッ
クごみは、ごみを燃やす時の補助燃料として使用
しています。

平成26年度の小野町のプラスチックごみの回
収量は、約54トンで、灯油に換算すると約45,
000リットル分(18リットルポリ容器で約2,
500本)を再利用することができました。

資源の有効活用とごみ処理費用削減のため、ご
みの分別回収にご協力をお願いします。

町民生活課 ☎ 7216933

プラスチックごみは大切な資源です!